

令和元年度
文化庁映画賞
文化記録映画大賞

ぴあ映画
旬日満足度1位
(11月1日発表)

第92回
キネマ旬報ベストテン
文化映画3位

第43回
日本カトリック
映画賞

2018年度
全国映画賞
特別賞

認知症の母と耳の遠い父と離れ暮らす私

ぼけますから、 よろしくお願いします。

ドキュメンタリー映画

広島県呉市。泣きながら撮った1200日の記録

入場
無料

監督・撮影・語り

ひとり娘 信友直子

プロデューサー：大島新、渡辺、共同プロデューサー：西田悠紀、橋本博、山口浩史
編集：日見原 雅、美術撮影：南 幸典、監修効果：金田野子、ライン編集：池田 聡、発音：宮本優一
配給協力：おれいし東中野、ワッキー・プロダクション、製作・配給：ネグワン、フジテレビ、関西テレビ

2018年/日本/カラー/102分/©「ぼけますから、よろしくお願いします。」製作・配給委員会

www.bokemasu.com

実の母親の認知症と、両親の老々介護の日々を描いた作品「ぼけますから、よろしくお願いします。」を上映します。老い、衰えとどう向かい合うか、皆で考えましょう。

日時

6.30 日 13:00-15:20
(開場：12:30)

会場

新庄村ふれあいセンター
大ホール (新庄村1998番地1)

① 本作のあらすじ

数々のテレビドキュメンタリーを手がけてきた信友直子監督が、自らの両親の老々介護を娘である「私」の視点から丹念に見つめた作品。80代後半の母がアルツハイマー型認知症と診断され、90歳を超えた父が母の介護をする日々が始まった。「私」は実家に帰ることも考えるが、「介護はわしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」という父の言葉に思い留まる。そして「私」は、この両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め……。

トークショー

信友監督 (14:50~)
× 大槻診療所長



信友直子さん
撮影：@原田桂太



上映後に本作品の監督をつとめた信友直子さん(ドキュメンタリー映画監督)を会場にお迎えし、新庄村内科診療所の大槻診療所長を聞き手にトークショーを開催します。本作に至るまでのストーリー、撮影の裏側や老々介護の実際について詳しくお話を伺います。

お問い合わせ | 新庄村役場 住民福祉課 (担当：谷川)

☎ 0867-56-2646

令和6年新庄村地域医療セミナー

小さな村で「幸せな老いかた」を考える。